

平成27年1月30日

大阪市教育局「学校教育ICT活用事業」モデル校（H25～26）

## 大阪市立阿倍野小学校 第6回ICT公開授業

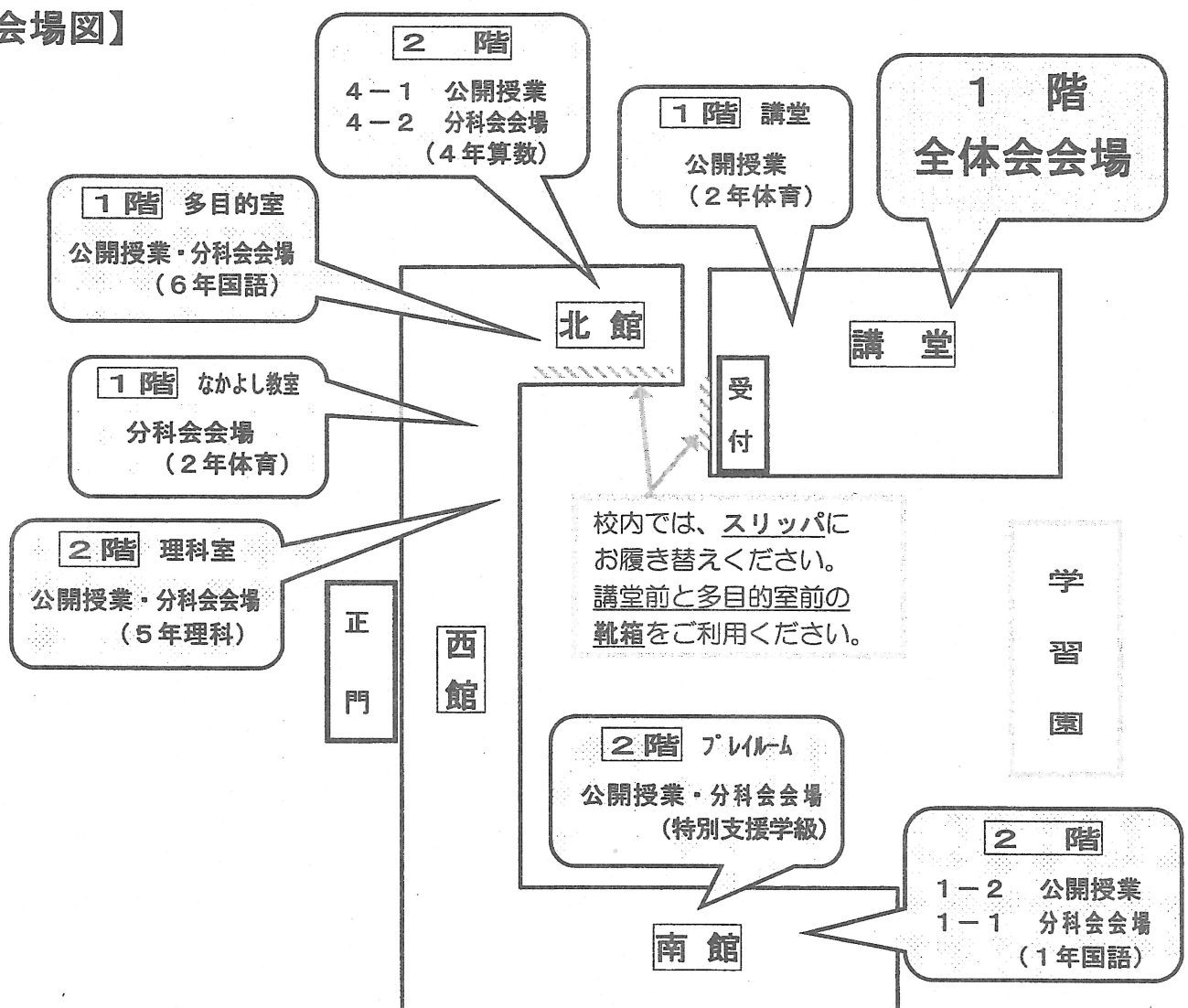
### 研究主題

ともに学び合い、学びを深める子どもの育成  
－ICTを活用して、教育の質を高めよう－

### 【時 程】

1:10	1:30	1:45	1:50	2:35	2:50	3:30	3:40	5:00
受 付	全体会 (講堂)	移動	ICT 公開授業 (各教室)	移動 休憩	分科会 (各教室)	移動 休憩	全体会 (講堂)	
	・本日のICT 活用のポイント							
			使用機器 電子黒板 iPad 等		授業について の研究協議		「研究のまとめ」 研究発表 指導助言	

### 【会場図】



## 参観者の皆さまへ

本日は、本校の公開授業にお越しいただき、ありがとうございます。

参観にあたって、次の点にご留意ください。

1. 授業も含めて、**校内の写真撮影・ビデオ撮影**は、次の点をお守りいただくことを前提に許可します。
  - 子どもの顔は、なるべく撮らないようにしてください。
  - フラッシュは使用しないでください。
  - 撮影した写真や動画は、個人または、所属する機関での研究目的にのみ使用してください。
  - 子どもや教職員が特定できる写真や動画を、ネット上にアップしないこと。これについては、いかなる理由があっても許可できません。
  - 授業風景を動画配信サイトなどにアップしないこと。
  - 教室内の作品についても、個人が特定される原因となりますので、同じ扱いとさせていただきます。

※ 撮影された被写体に係る肖像権に関しては、本人並びに本校に属しております。注意事項に反し、または非社会的な目的に利用された場合は、法的な手段により取り下げを要求します。
2. 授業中にむやみに子どもに接近するなど、子どもの注意力を阻害するような行動はお控えください。
3. 教室はたいへん混み合います。入口付近に固まらず奥にお進みください。
4. 携帯電話、スマートフォンはマナーモードにしてください。  
また、「Bluetooth」「Wi-Fi」機能をオフにしてください。
5. 授業中、ICT 機器などが動作不良になった場合、指導者の判断で使用を中止し、授業をすすめる等もありますので、ご理解ください。
6. 休み時間等では、子ども達の動線にお心遣いください。

# 研 究 の ま と め

## 1. 今年度の研究主題と主題設定

### 研 究 主 題 「ともに学び合い、学びを深める子どもの育成」 —ICT を活用して、教育の質を高めよう—

本校の目指す子ども像＝「主体的に問題に取り組み、協働的な学びを通して、自分の考えをし  
っかりと持ち、それを豊かに伝える子ども」

上述のような子どもを育成するために、以下の研究仮説を設定する。

#### <研究仮説>

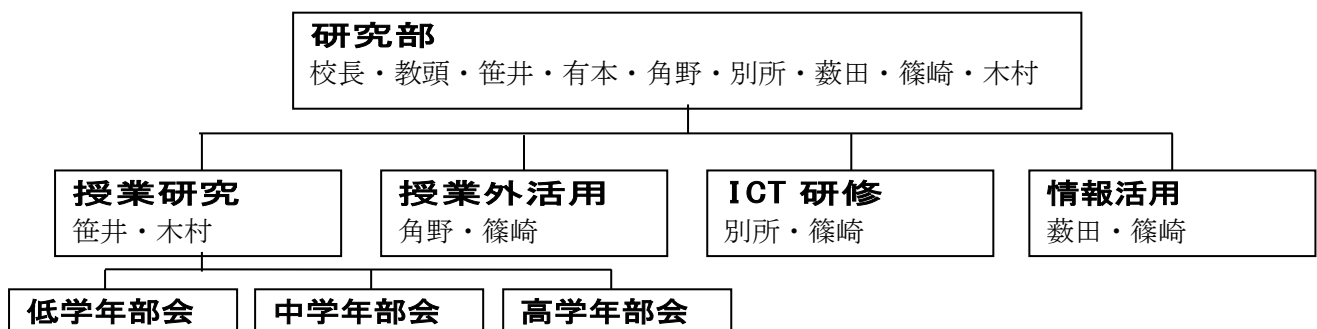
- ① 問題解決的な学習活動の各段階で、効果的、効率的に ICT を活用して学習活動の充実を図ることにより、子どもの問題解決活動がより主体的になり、協働的な学びを深め、表現力を高めることができる。
- ② 授業以外の多様な学校生活の場面で ICT を活用することにより、基礎的な学力の向上や、子どものさまざまな学びの過程の記録に寄与し、学びの質を高めることができる。
- ③ 指導者が ICT を効果的に活用するスキルを高めたり、ICT に関する機器や人材、運用上の約束事を整備したりすることにより、上記 2 点の仮説を基に効果的に研究を進めることができる。

上述の研究仮説を受けて、以下の 4 つの研究の視点を設定する。

#### <研究の視点>

- ICT を活用した授業づくり
  - ・問題解決的な学習の中のどの場面で ICT を活用し、どのような効果を狙うか
  - ・教科の特性に応じて、どのような ICT 活用ができるか
  - ・ICT の新たな活用法を模索する提案型授業と、ICT の「普段使い」に特化した授業を並立して発信
- 授業以外での ICT の活用
  - ・どんな場面(朝、家庭学習、校外活動…)で、どのように活用できるか
  - ・家庭へ持ち帰っての ICT 活用の模索
- 教員の ICT 研修
  - ・いつ(定期的、適宜、長期休業時…)、どこで(校内、他校、他施設…)、だれが、どのように進めているか
- 情報活用能力の育成
  - ・情報モラルを含めた、広い意味での情報活用能力を高めるための方策を模索

## 2. 研究の組織



- ・上記とは別に、教職員全体で共通理解を図る特別委員会として、**研究推進委員会**(研究部・学年主任・特別支援教育コーディネーター・習熟度担当(1名))と**研究全体会**(全教職員)を設置する。

### 3. 研究の内容

#### <ICT を活用した授業づくりの基本的考え方>

##### ○ 問題解決的な学習の流れ

子どもの主体的な学びを実現するために、単元構成や授業の学習過程において、問題解決的な学習の流れに沿って構成することを基本とする。**導入**:「学習問題の設定」＝**展開**:「学習問題の追究～解決」＝**終末**:「学習問題の結論の吟味」の3段階を基本的な流れとする。

##### ○ ICT 活用のねらい

問題解決的な学習の3段階の流れの中の、「どの段階」で「どんな力」をつけさせたいかを考え、そのために有効なICTの活用法を模索する。

##### ○ 教科の特性に応じたICTの活用

各教科のもつ特性をより活かしたり、特性に合わせてたりする形でのICTの活用を工夫する。例えば、体育や音楽、図画工作など、体験的活動が不可欠な教科では、ICTの活用によって、より良い活動のイメージが持てるようにする、理科や社会科など事象について働きかけ、考える教科では、ICTの活用によって、事象をより具体的に把握したり、調べやすくしたりする、など、指導計画を立てる段階から、教科ごとの特性に応じたICTの活用法を模索する。

#### 【問題解決的な学習の基本的流れ】

#### 【ICTを活用する主なねらい(例)】

##### 導入

##### ①学習問題を設定する場面

- ・ 学習問題に気づく
- ・ 学習問題に対して予想する
- ・ 予想を確かめる方法を考える

○ 疑問や驚きなどから問題意識を高め、問いを内発させることができる

○ 学習問題を探求しようとする関心・意欲を高めることができる

##### 展開

##### ②学習問題を追究～解決する場面

- ・ 必要な資料を収集し、分析する
- ・ 実験や観察、調査などに取り組む
- ・ 明らかになったことを整理する

○ 学習問題に主体的・意欲的に取り組むことができる

○ 協働的な学びを深めることができる

○ 追究活動を効率的に進めることができる

##### 終末

##### ③学習問題の結論を吟味する場面

- ・ 個々が解決したことを発表し合う
- ・ 学習問題に対する考えをまとめる
- ・ 残された課題を明確にする
- ・ 実践化を図ったり、別の事象にあてはめたりする

○ 学習内容をより深く定着させることができる

○ 表現力を高めることができる

○ プレゼンテーション能力を養うことができる

#### ◎ 授業におけるICT機器活用パターン

(基本使い) … 通常授業の中の一部で(主として指導者が)ICT機器の特性を活用するような授業。ICT機器があることで、授業の効率化や明確化を図る等の有用性を示すことができる授業。

(応用使い) … 指導者がICTを用いて教材を作成したり、子どもが積極的にアプリを使って問題解決を行うような授業。ICT機器があることによって成立する授業形態。

## 4. 研究の実際

### ◎ 授業研究

問題解決的な学習の流れを基本としながら、協働的な学びの場を多く設定し、各教科の特性に応じた ICT の活用を工夫した。

#### **国語**＜指導領域に応じた ICT の活用＞

「話すこと・聞くこと」…タブレット (TPC) で資料を作成してプレゼン・話し合いを TPC で記録 等  
「書くこと」…文章を TPC で撮影し、推敲をマーキングして交流 等  
「読むこと」…電子黒板 (IWB) に教材や挿絵を提示して交流 等



#### **社会**＜学習過程に応じた ICT の活用＞

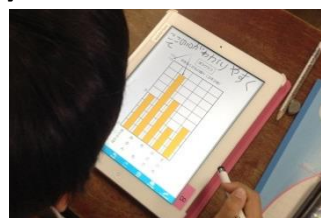
「つかむ段階」…IWB に写真やグラフ、絵図を提示して問題把握 等  
「調べる段階」…TPC で社会見学先や家庭内を撮影して資料化、指導者作成デジタル資料やネット検索による調べ活動 等  
「考える段階」…TPC で考えの交流、IWB での VTR 検証 等



#### **算数**＜視覚的に思考を深める ICT の活用＞

IWB で学習問題を提示 (ほぼ毎時間)

「図形領域」…TPC で個々の考え方を表して IWB で表現、デジタルヒントカードの作成 等  
「数量関係領域」…グラフの作成、グラフの意味などを TPC で交流 等



#### **理科**＜学習過程に応じた ICT の活用＞

「問題発見」…IWB に写真、映像を提示して問題把握 等  
「実験・観察」…植物の様子や自然現象を TPC で撮影・記録、グループごとの実験を TPC で撮影して資料化、TPC や IWB の機能を活用して効率的に実験 等  
「考察」…TPC で考えの交流、IWB で全体での練り合い 等



**生活**…見つけたことを TPC で撮影したり、まとめたりして、プレゼンテーション 等

**音楽** **体育**…自分の様子や動きを TPC で撮影、確認し自己評価 等

**音楽** **図工** **家庭**…個人やグループ単位で、TPC を活用して作品の鑑賞 等

**音楽** **図工** **家庭** **体育**…手本となる動きや作品を TPC で確認 等

## ◎ 授業外活用

### 朝学習

- ・ 3年生以上が週に1回実施。(8:30～8:45)
- ・ 教科や単元を選んで取り組める自習アプリやリンク集を活用したサイトの閲覧。

### 家庭への持ち帰り

- ・ 様々な学習に活用するための写真や動画を家庭で記録。
- ・ 「持ち帰るときの約束」の事前指導と持ち帰り前後の点検の徹底。

### 校外学習

- ・ 社会見学や宿泊行事で、施設の様子や自然観察の記録。

### クラブ活動・委員会活動 等

## ◎ ICT 研修

### 基本的な操作

最初は全員で電子黒板や iPad の操作方法、アプリの使い方、iPad の画面を電子黒板に投影する方法、指導者の資料を子どもたちの iPad に配布する方法などを ICT 支援員さんに教えていただいた。

### ミニ研修

授業作り指導員の先生と ICT 支援員さんが中心となり、ニーズに応じた研修を定期的に行っている。研修内容は、まとめをクラウド上にアップロードし、いつでも見ることができるようにしている。

### 研究授業へのアドバイス

授業者へのアドバイスをを行う際、アプリや授業支援システムを活用して、実際の授業場面写真に文字を書き加えてフォルダに保存する。授業者はそれを見て振り返り、改善できるようにした。

### 実践交流

お互いの公開授業の内容を、プレゼンテーションアプリを活用して報告し合った。

### 伝達研修

他のモデル校の公開授業に参加した者が授業内容を様々なアプリを活用してまとめ、クラウド上に保存し、誰もがいつでも見ることができるようにした。また、その資料を活用した報告会も行った。

## ◎ 情報活用

### 情報モラル教育の実施

- ・ 「情報モラル指導カリキュラム」を作成し、アプリや Web サイト、教材を活用して、各学年の実態に合わせて実施。今後も指導内容の充実を図る。
- ・ 第6学年では、自分の経験や取り巻く状況から起こりうる場面を自ら設定し、望ましい行動についての教材を作成。作成過程や友だちや他学年に伝達することで情報モラルを身につける。
- ・ 保護者向け情報モラル講習会を実施し、情報社会の現状やトラブル事例、対処法を伝達する。

### 子どもの ICT 機器操作技能の習得

- ・ 2年間の実践をもとに子どもの「情報活用に関する操作技能カリキュラム」を作成。
- ・ 教科や単元を選んで取り組める自習アプリや、リンク集を活用したサイトの閲覧。

## 5. 成果と課題

- ICT 機器を使った授業では、子どもの学びに関する肯定的な意識が高い。  
「楽しい」「進んで学習できた」「学習に集中できた」「もっと調べたい」・・・関心、意欲、態度  
「学習したことがわかった」「iPad が使える」・・・知識、理解、技能  
「自分の考えをまとめる、伝えることができた」  
「友だちの考えや意見を聞いて考えを深めることができた」・・・思考力、表現力
- ICT 機器を使った協働的な学びにより、子どもが「自分の考えを発表する機会が与えられている」と実感している。電子黒板や iPad は、自分の考えを学級やグループに主体的に発表できる機会をつくるとともに、自分の考えを、自信をもって伝えることができるツールとなっている。
- 教科の目標とともに、児童の実態から具体的な育成すべき資質・能力を踏まえた目標を設定し、ICT 機器を活用することによって目標にせまる手立てを研究していく。
- ICT 機器を活用した授業実践の継続と、大阪市の ICT を活用した教育の拠点校としての役割を担っていく。

# 第1学年 国語科 学習指導案

授業者 黄本 幸

## 《ICT の活用》

授業の場所	■普通教室 □特別教室 □体育館 □運動場 □その他（ ）
授業形態	□講義形式 ■一斉学習 ■グループ学習 □個別学習
ICT 活用の場面	■導入 ■展開 ■まとめ
ICT 活用者	■指導者 ■児童 □その他（ ）
ICT 活用の目的	■資料の提示(指導者) ■資料の提示(学習者) □自分の考えをまとめる ■グループの考えをまとめる ■他者との考えの比較・交流 □学習内容を調べる ■自分の考えを表現する □学習の振り返り □記録(写真・動画等) □プレゼンテーション等の作成
活用機器	■電子黒板 ■指導者用タブレット端末(iPad) ■児童用タブレット端末(iPad) □その他（ ）
活用コンテンツ等	○ 写真ファイル ○ MetaMoji Note
ICT 活用のポイント	○ タブレットを活用することで、今まで習った漢字の相違点を見つけたり、書きこんだりする作業が容易にできる。 ○ グループの考えを瞬時に電子黒板で提示し、発表することができる。

1 学年・組 第1学年2組 計33名

2 場 所 1年2組教室

3 単 元 名 「かたちのにているかん字」

4 目 標

○ 字形が似ている漢字を比較し、その相違点を見つけ出して整理する活動を通して、漢字を正しく識別することができる。

○ 形の似ている漢字の違いに注意しながら、文を読み書きすることができる。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
漢字の形に興味を持って、形の似ている漢字を探したり、その似ている漢字について違うところを探そうとしたりしている。	形の似た漢字を使い、それぞれの意味や使い方を正しくとらえて、つながりのある文を書いている。	形の似ている漢字を区別して、正しく読んだり書いたりしているとともに、文の中で使っている。

6 指導計画（全 4時間）

次	時	主 な 学 習 活 動	ICT活用のポイント
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いやすい漢字について話し合うことで、それが形の似ている漢字であることに気付かせる。</li> <li>・形の似ている漢字にはどのようなものがあるかを教科書から知る。</li> <li>・形の似ている漢字の違うところに印をつけ、それぞれの漢字に読み仮名を書く。</li> <li>・形の似ている漢字の違うところについて、気づいたことを発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を電子黒板で提示することで、学習内容を共通理解できるようにする。</li> <li>・電子黒板に解答することで、子どもの意見を明示できるようにする。</li> </ul>



	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字の中から、形の似ている漢字を探して、それぞれの漢字の違うところに印を書きこむ。</li> <li>グループになり、自分の見つけたものを発表し合い、グループで意見を交流する。</li> <li>グループで交流した意見を発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MetaMoji Note を活用することで、タブレット上で自由に操作することができる。</li> <li>グループの意見を瞬時に電子黒板で提示し、発表することができる。</li> </ul>
2	3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>『かたちのにているかん字ノート』を作り、その中でその漢字を使った文を作ることを通して、漢字を正しく書けるようにする。</li> <li>クラスの中で、作ったノートを見せ合い、形の似ている漢字を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの作ったノートを、指導者が写真でデータとして残しておくことで、今後活用していけるようにする。</li> </ul>

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 既習の漢字の中から形の似ている漢字を組で探すことができる。さらに、似ている漢字の違うところを見つけることができる。

### (2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を想起する。</li> <li>・前時に学習したことを電子黒板で提示し、学習内容の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に、子どもが書きこんだ後のデジタル教科書を写真で保存しておき、電子黒板で提示し、本時の学習を見通せるようにする。</li> </ul>	iPad (指) 電子黒板 ・写真ファイル	
展 開	<div>にているかん字をさがして、ちがいをを見つけよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習の漢字の中から、形の似ている漢字を探す。</li> <li>○ 似ている漢字の違うところに、印をつける。</li> <li>○ グループになり、見つけたものを発表し合い、意見を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MetaMoji Note を活用することで、容易に画面上で漢字を動かしたり、書きこんだりすることができることから、グループの意見を交流しやすくする。</li> <li>・タブレットを使うことで、子どもの興味・関心を高めることができる。</li> </ul>	iPad (児) ・MetaMoji Note	【関心・意欲・態度】 ・漢字の形に興味を持って、形の似ている漢字を探したり、その似ている漢字について違うところを探そうとしたりしている。 (プリント・行動・発言)
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループで見つけたものを発表し、それについて話し合う。</li> <li>・他のグループの中でも、同じ意見であったり、他の漢字との違いを見つけたりしていないか発表し合う。</li> <li>○ 今日の学習を振り返り、発表された漢字を使った文を書いてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの意見を瞬時に電子黒板で提示し、発表することができる。</li> </ul>	電子黒板 iPad (児) ・MetaMoji Note	【知識・理解・技能】 ・形の似ている漢字を探して、区別することができる。 (プリント・発言・MetaMoji Note)



(3) 板書計画

電子黒板

かたちのていしるかんず

④ ていしるかんずをひがてい、  
ちがいをみつけよう

おもいやり  
・ ていしるかんずをわがす

人

人

・ ちがいにマーキング

おれんしゅう

□

□

□

□

子ども達の意見

□

□

□

□

# 第2学年 体育科 学習指導案

授業者 玉城 明子

## 《ICT の活用》

授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input checked="" type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習
ICT 活用の場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ
ICT 活用者	<input type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT 活用の目的	<input type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末(iPad) <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末(iPad) <input type="checkbox"/> その他（ ）
活用コンテンツ等	<input type="checkbox"/> カメラ機能 <input type="checkbox"/> ロイロノート
ICT 活用のポイント	<input type="checkbox"/> 自分たちの動きを撮影して、見返すことができる。

1 学年・組 第2学年2組 計28名

2 場 所 体育館

3 単 元 名 リズム遊び 「リズムでパーティー！」

4 目 標

- ☐ 考えたいいくつかの動きを入れて踊ろうとすることができる。
- ☐ 互いの動きを見合って、仲間と関わりあって踊ろうとすることができる。
- ☐ リズムにのって踊ることができる。

5 単元の評価規準

運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動や健康・安全への 思考・判断	運動の技能
友だちと一緒に踊ったり、動きを見合ったりして、仲良く運動に取り組もうとする。 リズムに合わせて、楽しんで取り組もうとする。	自分のめあてを決め、リズムに合ったイメージをもつことができる。 リズム遊びが楽しくできるように、仲間といろいろな運動の仕方を工夫する。	弾む、回る、ねじる、スキップするなどの動きを基に、特徴をとらえ自分の体を力いっぱい使ってリズム遊びができる。

6 指導計画（全8時間）

次	時	主 な 学 習 活 動	I C T 活用のポイント
1	1	・ジャンプ、まわる、ねじる、スキップ、足ふみなどの動きを意識して、いくつかの曲に合わせて楽しく踊る。	
	2	・ジャンプ、まわる、ねじる、スキップ、足ふみなどの動きをグループで考え、自分たちの動画集を作る。	・自分たちの動きを撮影し、見返すことができる。
	3		・動いている姿を記録して残すことで、今後の活動に活かすことができる。

2	4 (本時)	・第1時で使った曲のうち、「じょいふる」に合わせて、ジャンプ、まわる、ねじる、スキップ、足ふみやその他の動きを使って、グループで踊る。	・自分たちの動きを撮影し、見返すことができる。
	5	・「じょいふるでパーティー！」をする。 各グループで考えた「じょいふる」の動きのまねをしてみんなで踊る。	
3	6	・グループで踊りたい曲を決めて、動きを考えて踊る。	・自分たちの動きを撮影し、見返すことができる。  ・iMovieで、容易に音楽を再生したり、一時停止したりすることができる。
	7	・「リズムでパーティー！」をする。 各グループで考えた動きを発表する。	

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 曲の特徴をとらえ、動きを工夫しながら友だちと一緒に楽しんで踊ることができる。

### (2) 展 開

	主な学習活動	I C T活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○ 準備運動をする。 ・既習のリズム運動を行う。			【関心・意欲・態度】 ・めあてをとらえて、意欲を持って取り組もうとしている。 (行動観察)
	○ 学習のめあてを確かめる。			
	リズムに合わせて、グループで楽しくおどろう。			
展 開	○ 曲を聞いて、動きを考える。  ・グループで作った自分たちの動画集を参考にしながら、動きを考える。  ・自分たちで考えた踊りを撮影する。  ・撮影した動画を見返しながら、よりよい動きにするために話し合う。	・子どもたちが、自分で作成した動画集を見ることで、動きを考えるヒントにすることができる。  ・自分たちの動きを撮影し、見返すことができる。  ・動いている姿を動画に残すことで、今後の活動に活かすことができる。	iPad(児) ・ロイロノート	【思考・判断】 ・リズム遊びが楽しくできるように、友だちとさまざまな動き方を工夫する。 (行動観察)  【技能】 ・特徴をとらえ、自分の体を力いっぱい使ってリズム遊びができる。

ま と め	○ グループのダンスの一部を紹介する。			【思考・判断】 ・ 本時の活動を振り返ることができる。 (ワークシート)
	○ 学習のまとめをする。			
	○ 整理運動をする。			

(3) 板書計画

1 / 30
🎵
リズムに合わせて、グループで楽しくおどろう。

くふう

- ・ うごきは大きくする。
- ・ 友だちのいいうごきをまねしてみる。

ふりかえり

楽しくおどることができましたか。	😊😊😊
リズムにのっておどることができましたか。	😊😊😊
いろいろなうごきができましたか。	😊😊😊
友だちとなかよくおどれましたか。	😊😊😊

ねじる
ジャンプ
足ふみ

まわる
スキップ
そのほか

# 第4学年 算数科 学習指導案

授業者 角野 弘和  
西窪 華代

## 《ICT の活用》

授業の場所	■普通教室 □特別教室 □体育館 □運動場 □その他（ ）
授業形態	□講義形式 □一斉学習 ■グループ学習 □個別学習
ICT 活用の場面	■導入 ■展開 ■まとめ
ICT 活用者	■指導者 ■児童 □その他（ ）
ICT 活用の目的	■資料の提示(指導者) ■資料の提示(学習者) ■自分の考えをまとめる □グループの考えをまとめる ■他者との考えの比較・交流 □学習内容を調べる ■自分の考えを表現する □学習の振り返り □記録(写真・動画等) □プレゼンテーション等の作成
活用機器	■電子黒板 ■指導者用タブレット端末(iPad) ■児童用タブレット端末(iPad) □その他（ ）
活用コンテンツ等	○ MetaMoji Note ○ SKYMENU ○ WebDAV Navigator
ICT 活用のポイント	○ MetaMoji Note のワークシートを使うことで、自分の考えを自由自在に表現することができる。 ○ SKYMENU を活用することで、一人一人の考えをフォルダへまとめ、互いの考えを共有することができる。

1 学年・組 第4学年1組 計28名

2 場 所 4年1組教室

3 単 元 名 「面積 ～広さを表そう～」

4 目 標

- 広さ比べの活動を通して、面積の測定の意味を理解することができる。
- 面積の単位 ( $\text{cm}^2$ 、 $\text{m}^2$ 、a、ha、 $\text{km}^2$ ) を知り、その相互関係を理解することができる。
- 長方形や正方形の面積を求めることができるとともに、その複合図形の求め方を考えることができる。
- 面積に応じた単位を選ぶことができる。

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技 能	知識・理解
広さを直感的に比べたり、重ね合わせたりして、いろいろな面積を調べようとしている。 面積を数値化して表すことのよさに気づき、公式を使って求積しようとしている。	面積も長さやかさと同様に単位のいくつ分で数値化して考えている。 複合図形の面積を長方形や正方形の面積をもとに考えている。	求積公式を利用し、いろいろな形の面積を求めることができる。	長方形、正方形の面積が、公式によって計算で求められることを理解している。 面積の単位 ( $\text{cm}^2$ 、 $\text{m}^2$ 、a、ha、 $\text{km}^2$ ) の意味を理解し、その相互関係を理解している。

6 指導計画 (全12時間)

次	時	主 な 学 習 活 動	ICT活用のポイント
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>まわりの長さが同じ長方形や正方形をしきつめる活動を通して、広さへの関心を高める。</li> <li>花壇の広さを比べる方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> </ul>

	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形と正方形の広さを比べる。</li> <li>・面積の意味、面積を表す単位「<math>\text{cm}^2</math>」を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> </ul>
2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形、正方形の面積を計算で求める方法を考える。</li> <li>・求積公式を使って、長方形の辺の長さを求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> <li>・MetaMoji Note に考えた方法をまとめ、WebDAV のフォルダに送ることで、考えを自由に共有できる。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形の辺の長さとの面積の関係を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> </ul>
3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を表す単位「<math>\text{m}^2</math>」を知る。</li> <li>・<math>1\text{m}^2</math>の量感を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>1\text{m}^2</math>が何<math>\text{cm}^2</math>か考える。</li> <li>・<math>\text{cm}</math>と<math>\text{m}</math>で表された長方形の面積を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を表す単位「<math>\text{a}</math>」を知る。</li> <li>・面積を表す単位「<math>\text{ha}</math>」を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドマークを活用し、身近な場所を提示することで広さの量感をより体感できる。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を表す単位「<math>\text{km}^2</math>」を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドマークを活用し、身近な場所を提示することで広さの量感をより体感できる。</li> </ul>
4	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合図形の面積の求め方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> <li>・MetaMoji Note に考えた方法をまとめ、SKYMENU のフォルダに保存することで、考えを自由に共有することができる。</li> </ul>
	10 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合図形の面積の求め方を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で問題を提示することで、全体で共有することができる。</li> <li>・MetaMoji Note に考えた方法をまとめ、SKYMENU の共有フォルダに保存することで、考えを自由に共有することができる。</li> </ul>
5	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔活用問題〕色をぬった部分の面積をくふうして求める。</li> <li>・単元のふり返し学習に取り組み、学習内容についての理解を確かなものにする。</li> </ul>	
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるものの面積を調べる。</li> </ul>	

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 面積を求めた式から複合図形の面積の求め方を考え、説明することができる。

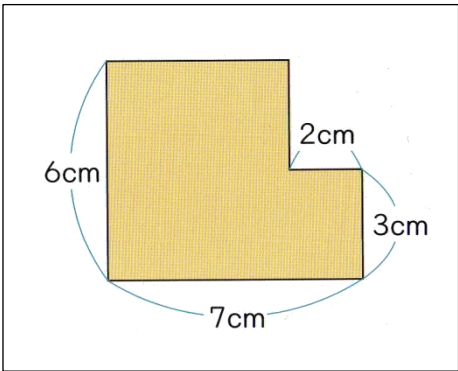
### (2) 展 開

	主な学習活動	I C T 活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○ 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の問題を電子黒板で提示し、全体で共有することができる。</li> </ul>	iPad (指) 電子黒板 ・SKYMENU	【関心・意欲・態度】 ・本時の学習課題について意欲的に考えようとしている。 (行動・発言)
		式をてがかりに面積の求め方を考えよう		

展 開	○ 見通しをもとに、それぞれの式がどのような考え方で立式されたのか、グループで考えをまとめる。	・それぞれの式の考え方を MetaMoji Note にまとめ、SKYMENU のフォルダに保存することで、自由に共有できるようにする。	iPad (児) ・ MetaMoji Note ・ SKYMENU ・ WebDAV Navigator	【技能】 ・ 複合図形の面積を求めた式から、求積の過程を説明することができる。 (行動・観察)
ま と め	○ それぞれの考え方を全体で共有し、学習のまとめをする。	・それぞれの考えを電子黒板で提示し、全体で共有することができる。	電子黒板 iPad (指)	【知識・理解】 ・ 複合図形の面積の求め方をいくつも理解している。 (行動・発言)

### (3) 板書計画

式をてがかりに面積の求め方を考えよう



見通し

④  $6 \times 5 + 3 \times 2$       ⑤  $3 \times 5 + 3 \times 7$       ⑥  $6 \times 7 - 3 \times 2$

⑦  $6 \times (7 + 5) \div 2$       ⑧  $3 \times (7 + 5)$       ⑨  $3 \times 5 + 3 \times 5 + 3 \times 2$



# 第5学年 理科 学習指導案

授業者 酒井 航

## 《ICT の活用》

授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input checked="" type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習
ICT 活用の場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ
ICT 活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT 活用の目的	<input type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末(iPad) <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末(iPad) <input type="checkbox"/> その他（ ）
活用コンテンツ等	<input type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> ロイロノート <input type="checkbox"/> MetaMoji Note <input type="checkbox"/> Keynote など
ICT 活用のポイント	<input type="checkbox"/> 実験過程を動画で記録し、発表資料を作成することで、結果を具体的に話し合うことができるようにする。

1 学年・組 第5学年2組 計32名

2 場 所 理科室

3 単 元 名 「電磁石のはたらき」

4 目 標

- 電磁石の導線に電流を流し、電磁石の強さの変化について興味・関心をもって追究する活動を通して、電流の働きについて条件を制御して調べる能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、電流の働きについての見方や考え方をもちつことができるようにする。

5 単元の評価規準

自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察実験の技能	自然事象についての 知識・理解
<p>電磁石の導線に電流を流したときに起こる現象に興味・関心をもち、自ら電流の働きを調べようとしている。</p> <p>電磁石の性質や働きを使ってものづくりをしたり、その性質や働きを利用した物の工夫を見直したりしようとしている。</p>	<p>電磁石に電流を流したときの電流の働きの変化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して実験を計画し、表現している。</p> <p>電磁石の強さと電流の強さや導線の巻数、電磁石の極の変化と電流の向きを関係付けて考察し、自分の考えを表現している。</p>	<p>電磁石の強さの変化を調べる工夫をし、導線などを適切に使って、安全で計画的に実験やものづくりをしている。</p> <p>電磁石の強さの変化を調べ、その過程や結果を定量的に記録している。</p>	<p>電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを理解している。</p> <p>電磁石の強さは、電流の強さや導線の巻数によって、変わることを理解している。</p>

## 6 指導計画（全 ○○時間）

次	時	主 な 学 習 活 動	I C T 活 用 の ポ イ ン ト
1	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁石を作って、鉄を引きつける活動を行い気づいたことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁石を使ったクレーンでゴミを持ち上げている動画ファイルを電子黒板で視聴し、学習への意欲を高める。</li> <li>SKYMENU で写真に文字を書き込んだり動画を撮影したりして、電磁石について気づいたことを具体的に話し合うことで、これからの学習問題を見出すことができるようにする。</li> </ul>
2	3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁石の極の性質を磁石をもとに予想する。</li> <li>電磁石の極の性質を実験グループに別れて調べる。</li> <li>電磁石の極の性質について実験結果を、発表グループと話し合う。</li> <li>結果をもとに、電磁石の性質をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果を話し合うために、写真や動画を活用した発表資料を作成する。</li> <li>作成した資料を提示しながら発表することで、電磁石の極の性質についての共通点を見出すことができるようにする。</li> </ul>
3	6 7 8 9（本時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁石を強くする条件を予想する。</li> <li>電流の強さやコイルの巻数を変えて、電磁石の強さが変わるか調べる。</li> <li>電磁石の強さが変わる条件をまとめる。</li> <li>電流の強さやコイルの巻数以外の電磁石を強くする条件の予想を振り返り、実験グループで、実験の準備をする。</li> <li>電流の強さやコイルの巻数以外の条件で、電磁石の強さが変わるか調べる。</li> <li>電磁石の強さについて、実験結果を発表グループで話し合う。</li> <li>実験結果をもとに、電流の強さやコイルの巻数以外の電磁石の強さが変わる条件をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の実験結果の発表を踏まえ、相手に伝えるように発表資料を作成する。</li> <li>作成した資料を提示しながら発表することで、体験していない実験について具体的に交流し、電磁石の強さが変わる条件を見出すことができるようにする。</li> </ul>
4	10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物で電磁石を利用した物を調べる。</li> <li>電磁石を利用した道具やおもちゃをつくる。</li> </ul>	

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 電流の強さや、コイルの巻数以外の電磁石の強さが変わる条件について、自分の予想をもとに実験し結果を話し合うことで、まとめることができる。

(2) 展 開

	主な学習活動	I C T活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	<p>○ 電流の強さやコイルの巻数以外の電磁石を強くする条件について予想を振り返り、実験の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄心の太さ</li> <li>・鉄心に直接エナメル線をまく</li> <li>・エナメル線の長さ</li> <li>・エナメル線のまき方</li> </ul>			
電磁石を強くする条件は、電流の強さとコイルのまき数のほかにもあるのだろうか				
展 開	<p>○ 実験グループに別れ、実験をする。</p> <p>○ 発表グループに別れ、電磁石を強くする条件について実験結果を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の様子をタブレットで撮影し、資料を作成することで、実験結果を具体的に話し合うことができるようにする。</li> <li>・発表グループで実験結果を発表できるように、資料から伝えることを確認する。</li> <li>・実験結果について資料を提示することで、電流の強さやコイルの巻数以外の電磁石を強くする条件を見出すことができるようにする。</li> </ul>	<p>iPad（児）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノート</li> <li>・MetaMojiNote</li> <li>・Keynote など</li> <li>・SKYMENU</li> </ul> <p>iPad（児）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノート</li> <li>・MetaMoji Note</li> <li>・Keynote など</li> </ul>	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源装置を適切に使い、結果を記録することができる。（行動）</li> </ul> <p>【思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁石を強くする条件について調べた実験結果を、資料をもとに分かりやすく説明している。（グループ発表）</li> </ul>
ま と め	<p>○ 電流の強さとコイルの巻数以外の電磁石を強くする条件をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁石の強くする条件は、鉄心を太くする</li> <li>鉄心に直接エナメル線をまく</li> <li>エナメル線を短くする</li> <li>エナメル線をすき間なくまく</li> </ul>			<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流の強さとコイルの巻数以外の電磁石を強くする条件を理解している。（発言）</li> </ul>

(3) 板書計画

**問** 電磁石を強くする条件は、電流の強さとまき数のほかにもあるのだろうか

**予想**

- ・鉄心を太くすると、電磁石は強くなるだろう。
- ・鉄心に直接エナメル線を巻くと、電磁石は強くなるだろう。
- ・エナメル線、電磁石は強くなるだろう。
- ・エナメル線をすき間なくまくと、電磁石は強くなるだろう。

**方法**

〈変える条件〉

- ・鉄心の太さ
- ・鉄心に直接
- ・エナメル線の長さ
- ・エナメル線のまき方

〈同じにする条件〉

- ・電流の強さ
- ・コイルのまき数

**電磁石の強くする条件は、**

- ・鉄心を太くする。
- ・鉄心に直接エナメル線をまく。
- ・エナメル線を短くする。
- ・エナメル線をすき間なくまく。

電子黒板

第6学年 国語科 学習指導要領

授業者 石井 優子

《ICT の活用》

授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input checked="" type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習
ICT 活用の場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ
ICT 活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT 活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末(iPad) <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末(iPad) <input type="checkbox"/> その他（ ）
活用コンテンツ等	<input type="checkbox"/> LEGO Movie
ICT(StoryStarter)活用のポイント	<input type="checkbox"/> 自分たちの語りたい場面をブロックで作成し、LEGO Movie で物語として表現することで、思考力・表現力・言語能力を高めていくことができる。 <input type="checkbox"/> 仲間とコミュニケーションをとりながら協働的に学習を進めていくことで、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、協調性も高めていくことができる。 <input type="checkbox"/> LEGO Movie で物語の一つの場面をいろいろな角度から撮影することで、伝えたい内容をより詳しく表現することができる。

1 学年・組 第6学年2組 計29名

2 場 所 多目的室

3 単 元 名 「伝え合おう、未来の世界」

4 目 標

○ 資料を効果的に使って、わかりやすく発表することができる。

○ 理由や根拠を明らかにしながら、自分の考えを表現したり、話したりすることができる。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
進んで資料を効果的に使って話そうとしている。	<p>話題として決めたテーマについて、調べたり考えたりしたことを分類・整理して、提示する資料や内容を選んでいる。</p> <p>資料を効果的に使って、分かりやすく発表している。</p> <p>発表の内容や話し方の工夫について、感想を述べたり、助言をしたりしている。</p>	話したり書いた資料を使ったりする発表を通して、話し言葉と書き言葉の違いに意識を向けている。

6 指導計画（全 8時間）

次	時	主 な 学 習 活 動	ICT（StoryStarter）活用のポイント
1	1	<p>・平和とはどういうものなのかを話し合い、現在世界で起きている様々な問題について調べ、資料を効果的に使ってわかりやすく説明する方法について学習することを</p> <p>知る。</p>	

2	2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国々にはどのような問題があるのかを調べる。</li> <li>調べた内容をグループで共有してテーマを一つにしぼり、未来の世界について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間とコミュニケーションをとりながら協働的に学習を進めていくことで、コミュニケーション能力、協調性を高めていくことができる。</li> </ul>
3	5 (本時) 6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに基づいて、物語を作る。</li> <li>3つの場面に分けて作る。</li> <li>物語の原稿を考える。</li> <li>一つの場面を少しずつ変化させてコマ送りできるように撮影し、編集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの語りたい場面をブロックで作成し、LEGO Movie で物語として表現することで、思考力・表現力・言語能力を高めていくことができる。</li> <li>仲間とコミュニケーションをとりながら協働的に学習を進めていくことで、コミュニケーション能力、協調性も高めていくことができる。</li> </ul>
4	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した物語を発表し、伝え合う。</li> <li>全体で意見や感想を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を発表することでプレゼンテーション能力を高めていくことができる。</li> </ul>

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 調べた資料をもとに創造した未来の世界を表現する。

### (2) 展 開

	主な学習活動	I C T (StoryStarter) 活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○ 学習課題をつかむ。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">未来の世界を表現し、物語を作ろう。</div> <p>○ 前時に話し合ったテーマにそって、物語の作成に当たることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話したい内容にふさわしい資料を用意する。</li> <li>聞き手の興味をひきつけるように、資料の示し方や、示すタイミングを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が LEGO Movie で作った見本を見せることで、編集の仕方、物語の作り方のイメージを持つことができる。</li> </ul>	電子黒板 iPad (指) Apple TV	
展 開	<p>○ ワークシートに基づいて物語を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つの場面に分けて作る。</li> <li>原稿を考える。</li> <li>一つの場面を少しずつ変化させてコマ送りできるように撮影し、編集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの語りたい場面をブロックで作成し、物語として LEGO Movie で表現することで、思考力・表現力・言語能力を高めていくことができる。</li> <li>仲間とコミュニケーションをとりながら協働的に学習を進めていくことで、コミュニケーション能力、協調性も高めていくことができる。</li> <li>LEGO Movie で物語の一つの場面をいろいろな角度から撮影することで、伝えたい内容をより詳しく表現することができる。</li> </ul>	iPad (児) ・LEGO Movie	<p>【話す聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話題として決めたテーマについて、調べたり考えたりしたことを分類・整理して、提示する場面や内容を選んで作成している。</li> <li>作品を効果的に使って、分かりやすく編集している。(行動観察・話し合い・作成した資料)</li> </ul>

まとめ	○ 各グループで作成した物語を見て意見を交流し合う。	・各グループで作成した物語を電子黒板に提示して意見を交流することで、それぞれの物語について考えたことを共有することができる。	電子黒板 iPad（児） Apple TV	
-----	----------------------------	--	-----------------------------	--

(3) 板書計画

伝え合おう、未来の世界

未来の世界を表現し、物語を作ろう。

○資料を使って説明する

一、話したい内容にふさわしい資料を用意する。

- ・三つの場面に分ける。
- ・原稿を考える。

二、聞き手の興味をひきつけるように、資料の示し方や、示すタイミングをくふうする。

- ・一つの場面を少しずつ変化させて、コマ送りできるように撮影する。

電子黒板

- ・指導者の見本
- ・各グループの物語

# なかよし学級 自立活動 学習指導案

授業者 生田一恵 河野悦子 吉川達也

## 《ICT の活用》

授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input checked="" type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習
ICT 活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ
ICT 活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT 活用の目的	<input type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input checked="" type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末(iPad) <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末(iPad mini) <input type="checkbox"/> その他（ ）
活用コンテンツ等	<input type="radio"/> ロイロノート <input type="radio"/> 写真ファイル
ICT 活用のポイント	<input type="radio"/> ロイロノートで作成した自分の思い出やできるようになったことのプレゼンテーションの資料を活用して話すことにより、順序立てて話すことができる。 <input type="radio"/> 録音機能を使用することで、本番緊張して話しにくい子どもの手立てとなる。 <input type="radio"/> 聞き手側も映像があることにより、視覚的にわかりやすくなる。 <input type="radio"/> 活動している様子を写真で撮影し、振り返ることで、自分や友だちのがんばりを認め合うことができる。

1 学年・組 なかよし学級 計13名

2 場所 プレイルーム

3 単元名 「思い出を伝え合おう」

4 目標

- 思い出やできるようになったことを友だちに伝えたり、聞いたりすることができる。
- 友だちの話を聞くことによってこれからの自分の生活に見通しを持って取り組むことができる。

5 児童の実態と個別の目標

児童	児童の実態	個別の目標
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別でも、全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>・見通しが持てるときには、みんなの前で大きな声で話することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの前で大きな声で話することができる。</li> </ul>
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別でも、全体でも話を聞いているが、すべての内容の理解はできにくい。</li> <li>・みんなの前では、支援があると話することができる。</li> <li>・言葉の発音が不明瞭なところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも、みんなの前で話することができる。</li> </ul>
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話は聞いているが、集中力が続かず聞き落したり、十分に理解できなかったりするときがある。</li> <li>・順序よくまとめて、みんなの前で話をするのは苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を順序よくまとめて話することができる。</li> </ul>
D児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別でも、全体でも話をしっかりと聞くことができる。</li> <li>・お話好きで、だれにでもよく話しかけている。みんなの前でもしっかりと話することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの前でわかりやすく話することができる。</li> </ul>



E児	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を最後まで聞くことが苦手で、集中する時間が短く、他のことに気を取られてしまう。話の内容はほぼ理解できる。</li> <li>進んで人と話をしようとするが、みんなの前で話をすることは恥ずかしがってできないことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しでも長く人の話を集中して聞くことができる。</li> <li>みんなの前で話をすることができる。</li> </ul>
F児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別に聞くと話の内容はほぼ理解できるが、全体の中では聞き逃すことがある。</li> <li>みんなの前でも話ができるが、気持ちの持ち方のタイミングがずれるとやる気をなくしてしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の中でも話を聞くことができる。</li> <li>みんなの前で大きな声で話をすることができる。</li> </ul>
G児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>個別では、気持ちが乗るといろいろとおしゃべりをするが、みんなの前で話をすることは苦手である。</li> <li>低学年の子どもに iPad mini の使い方を丁寧に教えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの前で話をすることができる。</li> </ul>
H児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>人前では緊張してしまい、声を出して話すことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの前で話をすることができる。</li> </ul>
I児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>みんなの前でしっかりと話ができる。</li> <li>ロイロノートを使いこなし、その使い方をわかりやすく教えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの気持ちを考えながら、わかりやすく話すことができる。</li> </ul>
J児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別に聞くと話の内容はよく理解できるが、全体の中では集中できず聞き逃してしまう。</li> <li>話をするのが好きで、だれとでもよくおしゃべりしている。みんなの前でも大きな声で話をすることができるが、あわててしまいうまくいかないこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の中で、少しでも話を聞くことができる。</li> <li>みんなの前でも落ち着いて話をすることができる。</li> </ul>
K児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>みんなの前でも発表することができるが、少し自信がないと小さな声になってしまう。</li> <li>ロイロノートを使いこなし、その使い方をわかりやすく教えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの前でわかりやすく大きな声で話をすることができる。</li> </ul>
L児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>最高学年としてみんなの前でしっかりと話をすることができる。</li> <li>ロイロノートを使いこなし、その使い方をわかりやすく教えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を順序よくまとめて話をすることができる。</li> </ul>
M児	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別でも全体でも話をよく聞くことができる。</li> <li>人前で話をすることが苦手だが、緊張しながらも自分の考えを伝えることができるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの前で大きな声で話をすることができる。</li> </ul>

## 6 指導計画（全12時間）

次	時	主 な 学 習 活 動	I C T 活 用 の ポ イ ン ト
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間にあった行事や心に残っていることを思い出す。 入学式 自然体験学習 栽培・収穫活動 林間学習 運動会 修学旅行 全校遠足 ポップコーンづくり 作品展 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までに撮影した写真や動画を電子黒板に提示したり、WebDAV から取り出した写真を iPad mini で見たりすることで、思い出す手立てとする。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートの使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートの使い方を知ることで、活動への意欲を高めることができる。</li> </ul>
	3		

2	4	・発表することを決める。	・もう一度、個人的に今までに撮影した写真や動画を iPad mini で見ることで発表することを決める手立てとする。
	5 8	・ロイロノートで思い出やできるようになったことをまとめたプレゼンテーションの資料を作成する。	・WebDAV から取り出した写真や新しく撮り直した写真を使用して作成するようにする。
	9	・発表の練習をする。	・人前で発表しにくい子どもにはロイロノートの録音機能で発表内容も録音しておくことにより、安心することができる。
3	10 (本時)	・グループ内で伝え合う。(なかよしタイム)	・ロイロノートで作成した自分の思い出やできるようになったことのプレゼンテーションの資料を活用して伝え合うことにより、順序立てて話すことができる。聞く側にしても、視覚的にわかりやすくなる。また、録音機能を使用することで、本番緊張して話せない子どもの手助けとなる。
	11	・みんなの前で話をする。(なかよしタイム)	
	12	・それぞれの学級で発表する。	

## 7 本時の学習

### (1) 目 標

- 思い出やできるようになったことを友だちに伝えたり、聞いたりすることができる。
- 友だちの話を聞くことによって、これからの生活の見通しを持つことができる。

### (2) 展 開

	主な学習活動	I C T 活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○ はじめのあいさつをする。 ○ 今までの活動を振り返る。  ○ 本時のめあてを確認する。	・これまでの活動の様子を電子黒板に提示することで、振り返りやすくする。	iPad (指) 電子黒板	【関心・意欲・態度】 ・写真を見ながら振り返り、本時の活動への意欲を持つことができる。(行動観察)
	思い出やできるようになったことを伝え合おう。			
	○ 伝え合う中で気をつけることや約束を確認する。			
展 開	○ グループで伝え合う。 ・3、4人のグループでの伝え合い	・iPad mini で自分のプレゼンテーションの資料を提示しながら伝え合うことで、順序立てて話すことができるとともに、聞き手も視覚的にわかりやすくなる。	iPad mini(児) ・ロイロノート	【関心・意欲・態度】 ・友だちと関わりながら取り組んでいる。(行動観察) 【技能】 ・ロイロノートを活用して話することができる。(行動観察) 【関心・意欲・態度】 ・5・6年の友だちの話を聞き、これからの生活の見通しを持つ。(行動観察)
	○ 5・6年の子どもがみんなの前で発表する。 ・林間学習 ・修学旅行 ・運動会 など	・電子黒板で自分のプレゼンテーションの資料を提示しながら発表することで、順序立てて話すことができるとともに、聞き手も視覚的にわかりやすくなる。	電子黒板 iPad mini(児) ・ロイロノート	

まとめ	○ 本時の学習を振り返る。 ・ 写真を見ての自分たちの様子の振り返り ・ 自分や友だちのがんばったところの発表  ○ 終わりのあいさつをする。	・ 本時の中で子どもたちの様子を撮影した写真を、電子黒板を活用して映し出す。それによって、自分や友だちのがんばりを認め合うことができ、次への活動の意欲を持つことができる。	iPad (指) 電子黒板 ・ 写真ファイル	【関心・意欲・態度】 ・ 自分や友だちのがんばったところを発表したり、他の友だちの発表に興味を持って聞いたりしている。 (行動観察)
-----	---	---	------------------------------	--

### (3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 150px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-weight: bold;">電子黒板</div> </div>	<p style="text-align: center;">おもいでやできるようになったことをつたえあおう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">きくとき</div> <p>うなずいて えがおで おわりまで</p> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">はなすとき</div> <p>ゆっくり はっきりと よくきこえるこえで</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ききおわったら</div> <p>はくしゅ がんばったところ よかったところ</p> </div>
--	---